

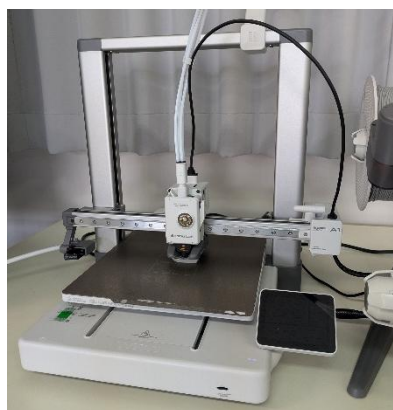
【DX ハイスクール】ついに登場！校内に最新 3D プリンターが設置されました！

文部科学省の「DX ハイスクール（高等学校デジタル梓推進事業）」の取り組みの一環として、本校に最新の 3D プリンターが導入されました！

今回本校にやってきたのは、Bambu Lab（バンブーラボ）社の「A1」という最新鋭の 3D プリンターです。

この機器の特徴は、圧倒的なスピードと精度の高さ。従来の 3D プリンターに比べて滑らかに、そして非常に速く立体物を形作ることができます。

初期設定を終え、いざ電源を入れてテスト出力をスタートすると、ウィーンという静かな駆動音とともに、ノズルが細かく動き始めました。モニター越しでしか見たことがなかった「平面のデータが少しずつ立体になっていくプロセス」が目の前で繰り広げられ、立ち会った先生たちからも思わず歓声が上がりました！



【来年度スタート！学校設定科目「デジタルファブリケーション」で活用】

この 3D プリンターは、来年度から新しく開講予定の学校設定科目「デジタルファブリケーション」の授業で本格的に使用します。

デジタルファブリケーションとは？

パソコンで作った 3D データ（CAD など）をもとに、3D プリンターやレーザー加工機などのデジタル工作機械を使って、実際にモノを作り出す技術のことです。

授業では、単に既成のデータを印刷するだけでなく、生徒一人ひとりがアイデアを出し、自分で 3D モデルをデザインし、実際に形にするという一連のモノづくり（メイカーズ体験）に挑戦します。

自分の頭の中にあるアイデアが、目の前で本物の「カタチ」になる感動を、ぜひ体験してほしいと思っています！

【これからの学習に乞うご期待！】

デジタル技術を活用したモノづくりは、これからの時代に欠かせない創造力や問題解決能力を養う絶好の機会です。

今後も、授業の準備風景や生徒たちの作品など、DX ハイスクール事業に関するワクワクする取り組みをホームページで発信していきます。来年度の授業をどうぞ楽しみに！